

施設に車いす贈る

MKがボウリング

大会の収益金寄付

伏見

MKグループ  
(京都市南区)

はこのほど、昨秋開いたプロアマ参加のボウリングトーナメント大会「第4回MKチャリティカップ」の収益金などで京都市内11福祉施設に計14台の車いすを寄贈した。

福祉用具の購入費として京都市と京都市にそれぞれ50万円を寄付し、各施設が車いすを選んだ。



贈呈式は京都市伏見区の「ケアホーム・なるたき」Ⅱ写真Ⅱと、城陽市の南山城学園で行われ、エムケイの松田忠夫専務と日本プロボウリング協会の松田

秀樹副会長に加え、西

谷逸夫プロ(55)、村松美雪プロ(38)も参加した。

なるたきでは、入浴用車いすを贈った。松田専務が「活用いただけることはわたたちの喜び」と話した。西谷プロと村松プロもボウリングを通じての親ぼくを呼び掛けた。

なるたきの藤井敏孝管理者(41)は「入浴の介助に使い勝手が良い車いすをいただきありがたい」と礼を述べた。

(上野正俊)